



住みよい町・ 活気あふれるまちづくり

滋賀県守山市 認可地縁団体 勝部自治会
会長 小嶋 宣秀



1 はじめに

勝部自治会は、800年の歴史を持つ勝部神社の火祭り「滋賀県選択無形民俗文化財」を守る伝統ある地域であり、JR守山駅前に近い市中心部に位置する非常に利便性の高い地域にあり住宅開発が活発に進み、昭和45年7月の市制施行時は330世帯、人口1,400人の自治会が平成28年8月では2,100世帯、人口5,000人となりました。



勝部火まつり

地域内には野洲川支流から枝分かれした小川や水路など9本が縦横に流れ、昔から住民は農業用水路から水を取り、戸板で水量を調節し、せせらぎを保ってきた歴史があります。

このせせらぎを生かした自然学習や清掃活動に加え、防火用水としての活用をもって川とのつきあいを生かし、「住みよい町・活気あふれるまちづくり」の輪と拠点として取組を行っています。

2 防災組織の体制

勝部自治会は自治会組織が発足した昭和46年以前から防災活動は熱心に行われていました。

ふるくからの活動は青年団組織の義勇消防団、また婦人会組織の女性消防隊が現在も活動を行っています。

平成17年4月に勝部自治会の住民が『自助・共助・公助』の精神にもとづいて、自主的に防災活動を行いまた防災意識を高め災害が発生したときに被害を最小限に抑えられることを目的として自主防災計画が定められました。

主な取組として、総合防災訓練（年1回）、地区別防災訓練（年2回）、義勇消防隊女性消防隊の定例訓練、防災戸板や消防設備の定期点検、青色回転灯パトロール隊による週1回以上の町内巡回パトロールの実施等を行っています。

また平成27年2月には自治会内の企業と合同で防災訓練を実施することが出来ました。



企業との合同訓練

3 腕用ポンプの復活

平成 25 年に腕用ポンプ『通称ガッチャンポン』の修復プロジェクトを、立ちあげました。

勝部自治会に保管されている腕用ポンプには（物部村・勝部・義勇）と表記があるも購入時期や配備時期は不明です。

平成 3 年に結成された消友会『守山市消防団員 O B 勝部在住』の皆さんで全ての部品を分解し清掃を行い不足の部品は手作りし、半年の期間をかけ修復され放水可能となりました。

そして平成 25 年 10 月 13 日に実施された勝部自治会総合防災訓練で義勇消防隊・女性消防隊また住民の人力により見事な放水が行われました。

今日では防災活動のシンボルとなっています。



腕用ポンプ

年は多くの皆さんも防災訓練に参加して下さるようになりましたがこれからは地域に合った訓練のやり方を見つけ、住民みんなが防災活動の重要性を意識し共有することが大事と考え活動していきます。



勝部消防隊

4 今後の取組

勝部自治会は 1 丁目～6 丁目と分かれている地域で旧住民の多くは 1 丁目と 2 丁目に住んでいます。

アパート、分譲マンション、分譲住宅と多くは 3 丁目～6 丁目となります、近

